

学年	2年
----	----

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文をすらすら読めない児童は2割程度いる。 ・「お」と「を」など助詞の書き分けや拗音撥音などの使い方が不十分な児童が2割程度いる。 ・語と語や文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表すことが苦手な児童がいる。 ・句点や読点の使い方が身に付いていない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字にルビをふる。指で文字を追わせるよう指導する。 ・友達同士で読み合い、文字の間違いを正せるようにする。助詞の使い方や句読点の使い方が意識できるようなプリントを用意したり、授業の始めに時間をとって指導したりする。 ・友達の文や参考作品を読んでわかりやすい文章について考える授業を行う。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・測定の技能が身に付いていない児童が1割程度いる。 ・数の概念やその表し方の意味理解が不十分な児童がいる。 ・時間や長さについて、知識はあるものの量感がともなっておらず、問題を解決する際に、既習事項を活用できない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味をもって取り組める課題を提示する。 ・少人数指導で適切な指導ができるようにする。 ・具体物を扱うなど、子供の感覚に訴えられる教材を用意する。また、予測して測定する活動を行う。 	
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、家庭及び地域の生活にかかわる体験や、社会及び自然と関わる体験を楽しむ児童が多いが、それらの自分との関わりに気付いたり、活動のよさや大切さに気付いたりする児童が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の振り返りができるワークシートを用意する。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の演奏をする際は、音を出す時と止める時のけじめがつきにくい。 ・楽器の演奏ができる児童とできない児童の差が大きい。 ・リズムを理解できない児童が1割程度いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のルールを徹底させる。 ・ペア学習を取り入れたり、個別に指導したりすることで技能の向上を図る。 ・楽しく参加できるリズムあそびを授業に繰り返し取り入れる。 	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・活動によっては技能差があるため、自信をもてず、活動に取り組めない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の出来を評価するのではなく、楽しく参加できるような課題を設定する。 ・遊びの要素を取り入れ、その中で表し方や作り方を工夫できるようにする。 ・友達の作品を見たり、お互いに話したりしながら想像を膨らませ表現できる力を育てる。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・どの活動においても体の使い方の個人差が大きい。 ・苦手なことで自信を失ってしまい、意欲的に活動に取り組めなくなっている児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・副読本を活用したり、動画を見せたりして体の動かし方のイメージをもてるようにする。 ・ボールゲームなどは、ルールの工夫をすることで、どの子も活躍し、十分運動できるよう活動の工夫を取り入れる。 	